

デジタル田園都市国家構想推進交付金<TYPE2> 【京都府採択:けいはんなサステナブルスマートシティ】

実施地域	けいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)	事業費	26,396万円
実施主体	京都府		
事業概要	<p>国家プロジェクトとして、学術研究と文化・生活の融合した新たな都市づくりを進めているけいはんな学研都市では、商業施設等の移動目的地の分散立地や高齢化による移動困難者の増加、高いマイカー依存等により、地域課題が複合化し、都市全体の最適化が急務。これらの解決に向けて、住民の移動や消費実態等を把握・分析し、都市サービスの改善につなげるため、第一弾として、健康×交通を軸としたスマートライフサービスによる持続可能なデータ駆動型の都市経営エコシステムを構築する。具体的には、京都企業のウェアラブルデバイス及びIoTセンシング機能付きデジタルサイネージを連動させ、行動変容促進型サービスを官民一体で提供し、スマートライフを実現。利用者の健康度(Well-being)及び移動・消費等の運用データ・主観評価データを継続的に収集し、PDCAサイクルの中で都市サービスを改善するとともに、これらデータを利活用し、スタートアップ等による新産業・ビジネス創出を加速させる。本取組のさらなる府域展開に加え、大阪・関西万博も積極活用し、全国にも発信。</p>		

取組内容

スマートライフサービスを核としたデータ駆動型の都市経営エコシステム

①ウェアラブルデバイスを装着し、健康状態・移動実態を把握

立地企業・大学・住民協力
初期ユーザー1000名



ウォッチからデータ取得



複数実証で裏付けされた
京都発アルゴリズム

ストレス・眠気・暑熱リスク・体調指数等を複合的に測定し、最適な活動量による新たな健康管理リコメンド

健康ポイント還元
(※将来的に地域通貨を導入し、地域活性化加速)



PHRデータ
マイナーポータル連携予定

③ユーザー属性に応じた健康情報等をサイネージで提供。公共施設等で生活サービスと連動。行動達成でインセンティブ取得し、さらに健康に

公共施設×生活サービス連動
(キッチンカー等)



アプリとサイネージが連動し、プッシュ型でユーザー属性に応じた健康情報をゲット、健康グッズ販売等で消費喚起

IoTセンシング機能付きデジタルサイネージ
(物販付き)



人流データ/アプリ接触データ(キャリアを問わない高精度データ)

④一連の行動から健康・移動・消費データを継続収集し、PDCAサイクルで都市サービス改善(データ質・量向上)

大学等との積極的な共同検証によるサービス熟度の向上。けいはんなモデルを全国展開!

行動が変わる
自然に健康

健康ポイント
街も元気に

歩くのは
苦痛⇒楽しい

マチナカ情報とつながる
ストレス発散のヒントも!

こんな良いことがあります!

得られる効果

徒歩転換による
住民行動(移動)
の最適化

行動変容による
健康増進(予防医療)及び消費促進

生活データの蓄積・分析
による都市サービス改善

持続可能なデータ
駆動型の都市経営
エコシステムの実現
(都市最適化)

今後
拡張

デジタルツイン(実証中)
オンデマンド生活サービス

行動管理

健康状態管理・健康増進リコメンド

行動に応じたインセンティブ/行動変容促進

自治体健康ポイント事業(せいか365事業連携)
航空会社のマイル発行
民間電子決済連携
自治体・企業サービスとの連携

行動支援

スマートサイネージ(まちなかデジタルプラットフォーム)
公共交通リアルタイム位置情報

データ流通取引市場との連携

上記サービスで得られた生活データ群(健康、移動、消費等)を利用し、健康行政等への活用、**スタートアップなどによる新産業・ビジネスを創出**する

データ連携基盤

※TYPE1採択済

補足説明(けいはんなサステナブルスマートシティの目指すところ)

社会課題解決への挑戦が都市の持続力につながる 世界トップの安寧な都市経営エコシステム

けいはんなモデルを府域へ横展開し
京都府デジタル田園都市を実現!
(グレーターけいはんな)

暮らしを変革

産官学が集うオープン
イノベーションプラットフォーム
(京都ビッグデータ活用F 143企業・団体)



データ活用事業の創出

住民参加型のまちづくり
(住民ネットワーク: 約2700名参加)



積極的な住民参加
健康増進加速

けいはんなサステナブル スマートシティを実現する データ連携基盤×データ流通市場

新たな産業創出や社会課題解決を図るデータ駆動型社会

新たな都市を創造する
国際研究ネットワーク
(けいはんな立地機関152)



最先端のまちづくり
コラボレーション促進

住民が幸福を感じる (Well-being) スマートシティ

〇〇×〇〇 (第三弾)
デジタルツイン (第二弾)
都市のシミュレーション

健康×交通
スマートライフを核とした
都市最適化 (第一弾)



産業を変革

現在

これまで蓄積してきた知見・ノウハウとけいはんなの実績

総務省データ
利活用型スマー
ドシティ事業



内閣府世界に
伍するスター
トアップ拠点

文科省/J
STリサ
ーチコン
プレクス
事業

けいはん
なオー
プンイ
ンバー
ション
セン
ター(5G環
境、ロボ
ット
セン
ター等
の整備)

国家戦
略特区
での豊
富な医
療規制
緩和の
実績

2016年度から3
年間累計268件の
実証実験(全国初の
レベル4の自動パレ
ーキング実証や
自動運転公道実証P
Fなど)

中核となる国交省事業「スマートけいはんなプロジェクト」の推進



ラストワンマイルモビリティ(シェアサイクル、デマ
ンド交通)、AIデバイスを活用したコミュニティサービ
ス、宅配ボックス、デジタルツイン、エネルギー関
連事業などを実施。地元と連携しながら住民参加・
住民目線で事業推進中。